



『花さき山』

斎藤隆介／作 滝平二郎／絵
岩崎書店

花さき山には、誰かがひとのことを思って優しいことをしたとき、ひとつの花が咲くという…。やまなばから聞いた話を村人は本気にしませんが、あやは“あっ、今、おらの花が咲いている”と思うことがあるのです。あなたの心には花が咲いていますか？



『100万回生きたねこ』

佐野洋子／作・絵
講談社

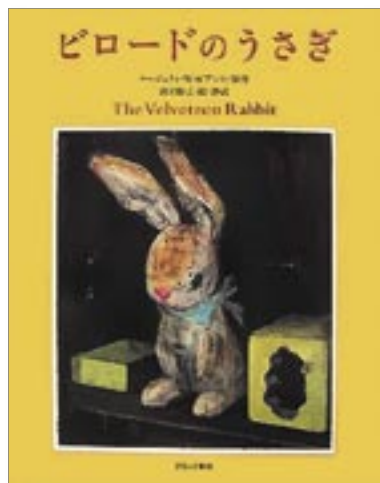
100万年も死なないねこは、100万回も死んでまた生き返ります。100万人の人がかわいがり、死ぬたびに飼い主たちは泣きました。でもねこは一回も泣きませんでした。そんなねこがある時、白いねこと出会い…。命とは、本当の愛とはなんでしょう。



『漂流物』

デイヴィッド・ウィーズナー／作
BL出版

少年が、海岸に流れ着いたカメラを現像してみると、そこには見たこともない海中の生物たちの世界があり、さらに1枚の人物写真が…。どんどんと流れていく物語は尽きることがない、言葉のない絵本です。



『ビロードのうさぎ』

マージェリィ・W・ピアンコ／原作
酒井駒子／絵・抄訳
ブロンズ社

クリスマスに、男の子の家にやって来たビロードのうさぎのぬいぐるみは「子どもに愛されたおもちゃはいつかほんものになれる」ということを知ります。うさぎの身に起こる奇跡とは？ いつまでも色あせない名作絵本です。